

令和2年4月25日

厚生労働大臣
加藤 勝信 殿

一般社団法人 日本ロボット外科学会
理事長 渡邊 剛

入院手術および処置における新型コロナウイルス核酸検出（PCR 検査）の
保険収載に関する要望書

医療者および医療施設を新型コロナウイルス感染から守り、また無症候性陽性者の命を守るために入院手術や処置前に医療者及び術前患者の PCR 検査を公費で行えるよう（保険適用）にすることを強く要望いたします。

記

現在、感染拡大地域では各医療機関が新型コロナウイルス感染症の対応に追われ、一般の傷病者に対する医療が大きく制限されている状況にあります。そのような状況下においても、外科の分野などの生命的あるいは機能的な予後を考慮した手術を行わざるを得ないことが多々ございます。

一方で、新型コロナウイルス感染症の特徴の一つとして、無症状もしくは軽微な症状の陽性患者（無症候性陽性者）が多数存在することが知られており、市中に感染が蔓延している現況ではこのような無症候性陽性者も急速に増加しているものと考えられます。術前の問診や一般的な術前検査により感染者を除外することは難しく、万が一、陽性患者と認識しないまま入院をさせてしまった場合、医療者を含めた院内感染を生じ、病院機能の大幅縮小あるいは停止という事態に陥り、地域の医療崩壊をきたします。また無症候性陽性者に対して全身麻酔下に手術を行い、その後新型コロナウイルス感染症を発症した場合、致死率が極めて高いことが報告されています。（Lei S et al. Clinical Characteristics and outcomes of patients undergoing surgeries during the incubation period of COVID-19 infection. E Clinical Medicine 2020）

すでに欧米・中国などの諸外国では、手術前に新型コロナウイルスのスクリーニング PCR 検査を行い、医療者への曝露や院内感染、さらには無症候性感染者への手術侵襲により感染を重篤化させることを未然に防ぐシステムが構築されています。

本邦における現行の新型コロナウイルス PCR 検査は、症状がある患者に対して、感染の診断目的で施行された場合にのみ保険適用となっています。すでに、本邦でも流行地域の病院においては自衛的に病院経費による PCR 検査を行っている施設もあります。

医療者および医療施設を感染から守り、また無症候性陽性者の命を守るためにも入院手術や処置前に医療者及び術前患者の PCR 検査を公費で行えるよう（保険適用など）にすることを強く要望いたします。

以上